



2008年3月18日

近畿大学、札幌ドームに「バイオコークス」看板を掲出 北海道発！次世代バイオ・リサイクル燃料をPR —— 3月20日(祝)、パ・リーグ開幕戦でお披露目 ——

近畿大学(理事長・世耕弘昭、本部・大阪府東大阪市)は、プロ野球パシフィック・リーグの2008年度公式戦が開幕する2008年3月20日(木・祝)から、北海道日本ハムファイターズの本拠地である札幌ドームに、近畿大学が開発し、実用化を目指している次世代バイオ・リサイクル燃料「バイオコークス」(※詳細は別紙参照)についてPRする看板(回転式)を掲出します。

近畿大学は2008年4月、北海道恵庭市内に、バイオコークスの実用化へ向けた実証実験を行う研究施設「近畿大学バイオコークス量産実証実験センター(仮称)」を新たに開設する予定です。バイオコークスの新たな研究開発拠点となる北海道との間で、原料供給や製品の利活用、ビジネスへの発展など、さまざまな面で協力関係を築くべく、北海道庁をはじめ道内関係機関との連携を強めております。今回の看板掲出も、今夏の洞爺湖サミットで環境保護機運が高まる北海道を発信源に、バイオコークスへの理解と関心を高めていただくのが目的です。

看板は、バックネット下1塁側寄りフェンスに設置された回転式(複数の看板を交互に掲出)の看板枠に掲出されます。3月20日午後2時開始のパ・リーグ開幕戦、北海道日本ハムファイターズ対千葉ロッテマリーンズの公式戦がお披露目となります。

近畿大学では、これを機に、バイオコークス研究開発の推進のみならず、多くの人にバイオコークスの可能性と有用性を知っていただけるよう、PR活動にも力を入れていきます。

札幌ドームに掲出されるバイオコークスのPR看板



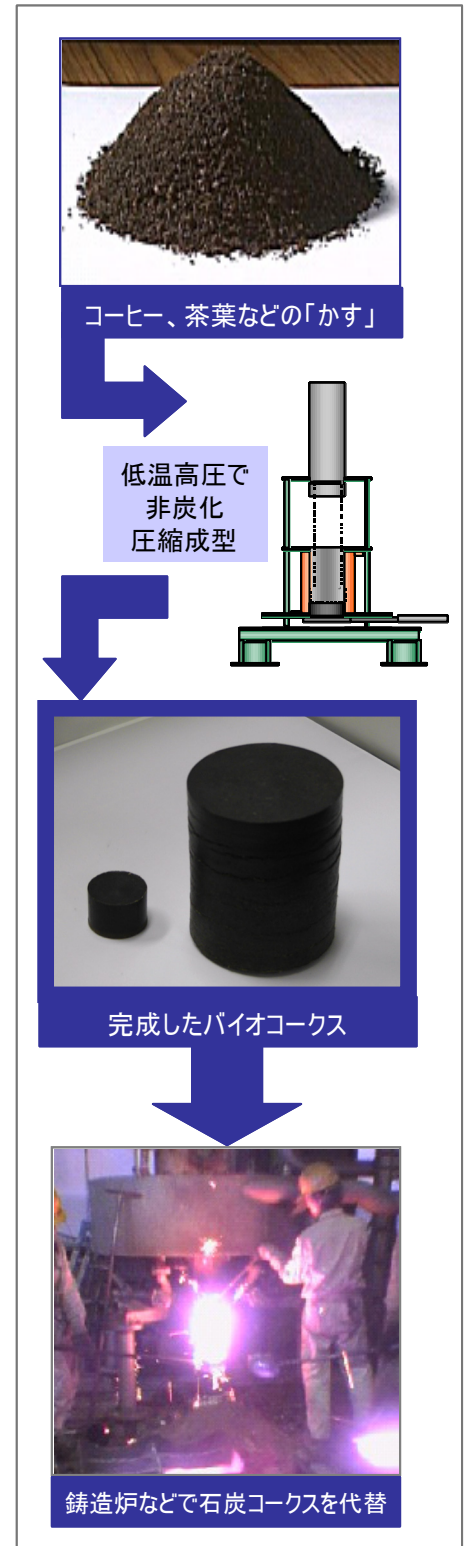
■報道機関からのお問い合わせ

近畿大学 総務部広報課 担当:門(かど)、澤田
電話(06)6721-2332[内線:2024] FAX(06)6727-4435
koho@msa.kindai.ac.jp <http://www.kindai.ac.jp>



■ 参考資料: バイオコークスについて

- バイオコークスは、飲料工場から大量に排出・廃棄されている「茶かす」をはじめ、ほぼ全ての植物由来廃棄物から製造可能で、製鉄・鑄造炉で燃料として使われる石炭コークスの代替となる、新しい固形燃料です。
- 原料の100%を活用できる高リサイクル性に加え、石炭コークスよりCO₂排出量を削減(植物由来のため排出量はゼロカウント)。さらに、化石燃料依存や輸入価格変動のリスクを解決する、国産エネルギーとして期待を集めています。石炭コークス代替だけでなく、家庭用燃料を含む、さまざまな用途に活用できる可能性が高いとみられています。
- 現在、近畿大学では、理工学部・井田民男講師のチームが、量産機開発を担当する三菱重工業株式会社と共同で研究開発を進めています。小型実験炉での石炭コークス20%代替に成功し、今後は2009年の実用化をめざして実証実験を重ねていきます。
- このプロジェクトは、独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の助成事業に採択されています。実証実験の拠点となる恵庭市の「近畿大学バイオコークス量産実証実験センター(仮称)」は、340㎡の施設内に、高さ約6m・幅5mの試験設備を配置し、2008年4月中に稼動開始する予定です。
- 近畿大学では、バイオコークス研究開発の新拠点、いわば“バイオコークスの“ふるさと”となる北海道との間で、原料供給や製品利活用、さまざまなビジネスへの発展などで、協力関係を構築したいと考えています。道内の行政・企業・市民など、あらゆるレベルで、共同プロジェクトの実施などを模索していく方針です。



■ 報道機関からのお問い合わせ

近畿大学 総務部広報課 担当:門(かど)、澤田
電話(06)6721-2332[内線:2024] FAX(06)6727-4435
koho@msa.kindai.ac.jp <http://www.kindai.ac.jp>